



DOKKYO SAITAMA HIGH SCHOOL

獨協埼玉高等学校



No.

9

2007.8.10

# 同窓会会報

発行：獨協埼玉高等学校同窓会 発行人：玉山 栄一  
〒343-0037 埼玉県越谷市大字恩間新田字寺前316  
☎048-977-5441 FAX048-977-2031  
e-mail : dosokai@dokkyo-saitama.ed.jp  
URL http://www.dokkyo-saitama.ed.jp/



この会報を手にしている大部分の同窓生にとって、中学高校で行つたことといえば、「勉強」や「部活」、そして体育祭・文化祭・修学旅行といった「学校行事」が思い浮かべられると思います。かつては、こういったことが学校が提供する子供が学ぶ機会の主流であり、大部分でした。しかしながらここ10年くらいでどうか、社会状況の変化などとともに、学校が提供すべき機会として多くのものが加わってきました。災害被災者や社会的弱者などに対するボランティア活動という概念の理解と実践。欧米は当然のことながら、その他アジアなどにも目を向けた国際理解教育。インターネットや携帯電話などの新しいテクノロジーの使い方や付き合い方の教育など。こういった新しい流れに対応するために、比較的閉鎖的と形容されてきた学校も、様々な専門的知識を有した人たちや外部機関などと連携して、積極的に社会と関わりを持ちながら新しい教育を試みています。

今回紹介する「職業体験」は、こういった

流れの中、獨協埼玉同窓会が学校と連携して、公立の中学校などで盛んに実施されている職業体験を試みています。

今回の職業体験を実施するに当たって窓口になつて下さったのが、自らアメ横で化粧品を扱う事業を営んでいる玉山栄一さん（同窓会長）で、生徒に職業体験をさせたいと考

行つたプログラムで、自分の将来を見据えた進路選択を促すための進路指導・キャリア教育の一環として実施されました。

今にも雨が降り出しそうな7月10日の正午、上野の西郷隆盛像の前に獨協埼玉中学3年生約10人が集まりました。今回受け入れてくださるアメ横の方からの挨拶と簡単な諸注意の後、2~6人程度にグループ分けされた生徒達は、それぞれ連れられて約60の店舗に散つていきました。初めて顔を合わせるお店の方に、ぎこちない挨拶をすることから彼らの職業体験が始まりました。生徒達が体験する店は実際に様々な業種があります。輸入雑貨店、革製品、アクセサリー、靴を扱う店、そしてアメ横の代名詞的な魚屋さんなど。店の掃除や商品の整理、店の裏側で在庫品の整理や商品の袋詰め、そして接客など、様々な体験をすることとなりました。店の従業員と同じ前掛けを身につけつつも、なかなかお客様に声をかけられなかつた生徒ですが、15分もすると大きな声で「いらっしゃい！△□が安いよ！」と大声で客引きをしました。中には大人顔負けの力を發揮し始めた。また、店の裏側でひたすらシラスのパック詰めをしたり、靴の在庫棚の整理をしたり、高級腕時計を磨いたりする作業に没頭する生徒もたくさんいました。3時間弱という短い時間ではありますでしたが、「アメ横」という実社会にさらされることによつて生徒が吸収できたものは、本当に多くのものがあつたと思います。体験後「俺1万8千円も魚を売つちゃつたよ！」「おじいちゃんに靴を売つちゃつたよ！」「店の人に怒られた…」「地道な作業の繰り返しで疲れた。」などと生徒の口から聞くことができたのが印象的でした。

(教諭 中3担任 成瀬博文・10期生)

職業体験は、地元の商店街などと連携して行われるのですが、獨協埼玉のような私立では実施が難しいのが実情でした。しかも10人という大規模となると受け入れ可能なところは皆無に等しく、実施を検討しつつも何度も何度も断念してきました。そのような中、同窓生の立場からすると少なからず「不安」を感じることもあると思いますが、窓口となつているのが同窓会ということとなれば、保護者の不安を払拭する一助ともなりました。

先に述べたとおり、学校が果たすべき役割は多様化し、獨協埼玉中学高等学校においても様々な取り組みを実践しています。こういった取り組みは、「人間を育てる」ことを大切にする我が校においては、形こそ遠え昔から行ってきたことだと思います。同窓会としても何ができるかを考えながら、母校の発展、後輩の成長を見守つて頂きたいと思います。



原点回帰

同窓會長 玉山栄二



本同窓会も早いもので、10年目を迎えることとなりました。これも皆さまのご理解、ご支援の賜物と深く感謝申し上げます。

その中でも特に次の2点に着目をしています。  
1点は多様化する社会の中で、視野が広く、多角的な視点を持てる人間作りです。まだまだ自分の知らない世界があり、自分にはないものの見方があることを自覚し、何かに行き詰まつたときには思い切って発想を変え、見方を変えることで新たな発見をする、そんな人作りを目指したいのです。  
もう一つは私は壁にぶつかったときに簡単にあきらめずに、乗り越えていく力を持つている人のことを、「胆力のある人」と呼んでいます。これからの社会では、この「胆力のある人」が必要とされるはずです。本同窓会自身も、そして卒業生たちもまだまだ若さがあります。それ故に未熟さも伴い、時に落とし穴にはまるような事態に遭遇することもあるかもしれません。それでも若さだけが持つスピード感でそんな落とし穴も飛び越え、ファットワーク軽く、何事にも挑戦する意志を持ち続け、これからも同窓会は進化を続けていきます。是非、同窓会の目指す「人作り」への一歩力をお願いします。

校長 石井征次



もう一人いる。小柄で痩せていて軽だったS君である。仕事が忙しくてクラス会への参加をためらっているうちに時が流れてしまったそうだ。

高校時代四十八キロの体重が今や六十六キロ、全くの別人となつて現れた彼を懐かしいS君と確認するのは容易ではなかつた。「Sです」との彼の名乗りを聞いても参加者の反応は鈍く、最初は皆曖昧な笑顔を浮かべて対応していたと思う。それが、一時間も経つ頃にはすっかり懐かしいS君が復活していた。声は変わらないし、軽で洒脱な話し方は昔のままだつた。

クラスメートは、そして同窓生は四十六年経つても懐かしい。すっかり容貌が一変していても、やっぱり懐かしい！

野崎 美津恵（英語科）



科) 同窓生の皆さ 生活にどんな形で役立つてゐるか、それがい  
ん、へかがお過ご つも氣になつて、います。

岩田充泰  
(英語科)



A black and white portrait of Shigeru Yoshida, a man with glasses and a white shirt, smiling. He is wearing a cross pendant around his neck.

小池良保（社会科）



卒業生がこれ程親の気持ちになつたようで、安心している自分が見せます。

も二十年になろうとしています。元気な生徒との年齢差のギャップを刺激に変えて教壇に立っています。

生活にどんな形で役立っているか、それがいつも気になっています。

学校もその後、中学が併設されたり、女子の制服が変わったりと、時間とともに変化していますが、この学校で皆さんのが過ごした頃のおおらかな雰囲気は今も残っています。この校風のもとで過ごした自由でのびのびした日々が、スピーデ化された社会で生きている皆さんとの、その後の人生の糧となってくれるよう願っています。同窓生の皆さん、時間を見つけて母校にも脚をのばしてください。きっとあの頃の優しい新鮮な自分にまためぐりあえると思います。

# 第十回同窓会総会・懇親会開催

梅雨入り宣言されたばかりだというのに真夏の暑さになつた6月16日(土)、本校小ホールにて第10回同窓会総会・懇親会が行われました。

会では、18年度の事業報告・会計報告がなされ、19年度の事業計画・予算案などが上程されました。3月に獨協大学内に完成した天野貞裕記念館への竣工寄付金として、30万円を予算に計上した議案も含め、それぞれ御承認いただきました。

総会後の懇親会は、卒業期がひとヶタの子連れ卒業生、3週間の実習も終盤を迎えた教育実習生、卒業したての若々しい学生など、年の差最大25歳とはいえ、同じ校舎、先生方に学んだ者同士の和やかな会となりました。お忙しい中、御参加くださった校長先生はじめ諸先生方からもお言葉をいただきました。歓談の合間に、スライドショーが行われました。乾杯の際、根岸先生が「年配の先生方にお会いできるのもあと数年、このような機会に是非母校をお尋ねください」とおっしゃっていましたが、スライドで振り返ると、あつという間に時は過ぎ、いろいろなことが変化しているのだと感じました。スライドの後半は、加倉井先生の解説による初めての中高一貫生の6年間の記録でした。当の25期生からは、懐かしさと恥ずかしさの混じった黄色い悲鳴があがっていました。

来年は同窓会設立10周年の節目の年です。多くの同窓会の御参加をお持ちしています。

## 決算・予算報告



## 平成18年度決算書 H18年4月1日~H19年3月31日

収入の部	支出の部
★前年度繰越金 16,513,383	★次年度繰越金 18,192,032
★終身会費卒業生 3,510,000	★会費 551,987
★終身会費既卒生 340,000	★会報費 1,228,243
★利息 2,699	★書架費 305,550
★10期生ジュース販賣 2,000	★幹事会費 30,000
★懇親会収入 126,000	★慶弔費(花束) 12,600
合計 20,494,082	合計 20,494,082

## 平成19年度予算(案)

収入の部	支出の部
★25期生 終身会費 2790000	★懇親会費 551,987
★H18年度より繰越金 18192032	★会報費 1,228,243
★預金利息 2500	★書架費 305,550
★懇親会収入 60000	★幹事会費 30,000
	★慶弔費(花束) 12,600
	★体育祭ジユース 173,670
	★卒業アルバム保管用 13,800
	★企画費 500,000
	★天野貞裕記念館寄附金 300,000
	★予備費 17,928,682
合計 21,044,532	合計 21,044,532

# 第二回ホームカミングデーを振り返って

## 潮上の日・Ⅲ



「お前、太ったなー！」  
「うちは子ども3人でにぎやかだよ！」懐かしい声が響く会場。

昨年の9月23日、獨協埼玉高校3期生のホームカミングデーが昼・夜2部構成で開催された。

第一部は14時から中学棟第一会議室に3期生20名程度が集まり、おのの近況報告等を話した後、おとどし完成したばかりの第2体育館や中学棟を見学

・20年振りに獨協埼玉に訪れたところ、様変わりの景色。随分と近代的になつたと思いました。また来訪できる日を楽しみにしていました。

・ホームカミングデーで懐かしい友人にたくさん会うことができ、楽しく有意義に過ごせました。再会を約束して帰途につきました。

・懐かしい先生方や同級生とお会いでき、とても充実した一日を過ごすことができました。またこのような機会があれば、ぜひ参加したいと思います。

・久しぶりの友の顔、先生の顔に元気百倍！となりました。今回のホームカミングデーを機に、また遊び約束もしたいです。

・久しぶりに獨協埼玉を訪れて、懐かしい方々に会えて本当に良かったです。年に一度くらいこのような機会があれば参加したいと思います。

・久しぶりに友人達と会えてとても楽しかったです。

・卒業後初めて獨協埼玉を訪れました。懐かしいキャンバスに、お変わりのない先生方。本当に嬉しく楽しく、また懐かしい時を過ごしました。

・久しぶりに友人達と会えてとても楽しかったです。

・地よいこの空間。中学校が出来たり、第2体育館

が出来たり、少し様子が変わってしまったけれど、何年経つても、何十年経つてもココは私たちの母校であり、スタート地点なのだ。それを実感した1日。まさに「ホームカミングデー」だった。

今回のホームカミングデー開催にあたって、石井信一・3期生



井校長、玉山同窓会会長はじめたくさんの人の協力をいたしました。この紙面をかりて御礼申し上げます。ありがとうございました。

最後に、後日私のパソコンに届いた参加者からのメールを紹介して結びとしたい。

・卒業以来お会いしていないなかつた先生方に再会でき、大感激でした。ありがとうございました。

・懐かしい先生方や同級生とお会いでき、とにかく会は並行した。そして最後に21年振りに全員で校歌を歌い、名残惜しさを残しつつ、会はお開きとなつた。

・その後、懇親会が「フューリーカーデン春日部」に場所を移して行われ、石井校長はじめ当時の担任の先生方全員に参加していただき、にぎやかに会は並行した。そして最後に21年振りに全員で校歌を歌い、名残惜しさを残しつつ、会はお開きとなつた。

・懐かしい先生方や同級生とお会いでき、とても充実した一日を過ごすことができました。またこののような機会があれば、ぜひ参加したいと思います。

・懐かしい先生方や同級生とお会いでき、とても充実した一日を過ごすことができました。またこのような機会があれば参加したいと思います。

・久しぶりに友の顔、先生の顔に元気百倍！となりました。今回のホームカミングデーを機に、また遊び約束もしたいです。

・久しぶりに獨協埼玉を訪れて、懐かしい方々に会えて本当に良かったです。年に一度くらいこのような機会があれば参加したいと思います。

・久しぶりに友の顔、先生の顔に元気百倍！となりました。今回のホームカミングデーを機に、また遊び約束もしたいです。

・久しぶりに友の顔、先生の顔に元気百倍！となりました。今回のホームカミングデーを機に、また遊び約束もしたいです。

・久しぶりに友の顔、先生の顔に元気百倍！となりました。今回のホームカミングデーを機に、また遊び約束もしたいです。

・久しぶりに友の顔、先生の顔に元気百倍！となりました。今回のホームカミングデーを機に、また遊び約束もしたいです。

・久しぶりに友の顔、先生の顔に元気百倍！となりました。今回のホームカミングデーを機に、また遊び約束もしたいです。

・久しぶりに友の顔、先生の顔に元気百倍！となりました。今回のホームカミングデーを機に、また遊び約束もしたいです。

・久しぶりに友の顔、先生の顔に元気百倍！となりました。今回のホームカミングデーを機に、また遊び約束もしたいです。

・久しぶりに友の顔、先生の顔に元気百倍！となりました。今回のホームカミングデーを機に、また遊び約束もしたいです。

・久しぶりに友の顔、先生の顔に元気百倍！となりました。今回のホームカミングデーを機に、また遊び約束もしたいです。

第四回 ホームカミングデー

4期生ホームページカミングティーに向けて各クラス幹事が春から一生懸命準備をしていました。卒業して2年。初めての同窓会です。今皆さんどうに住んでいるのか、お名前を最新名簿を作成するのに大変苦労しました。この会報を手にされて、この4期生が全員参加して下さる「じか幹事一同の願いです。以下、諸さんへのメッセージをお聞けします。

【本業20年、仕事に就き家庭も持ついろいろあつたのに昨日のように思える。皆変わったとは思えるけど気楽に話が出来ると良いですね。】

「青春を過ごした学び舎で心も身体もあの頃よりひとまわり大きくなつた(?)」懐かしい顔と再会しましょう――

「一組」山口 三九(脚本) (脚本)

好きだった魔晄先生も)出席。一緒に楽しい時間を過ごしました。」

「おーい！錦玉卒業して40才過えるオヤジ・オバサン達！  
22年前思い出してさわやかに全員登校！」

「皆さんは忙であるとは思いますが、学校の担当の

先生なども含め、幹事やお手伝いして下さっている方々も  
藉一杯やつております。ぜひとも気持ちのいい参加の返事  
を待っています。入会・会員登録をして下さい。

第三章 小山仁組

おじさん達が見ていた先生方が、今の自分より若かったなんて…。同窓会への出席率は決して4期は高くないですが今回は4期だけの集まる会。「やる時は

やれる、  
4期】今まで以上の出席人数を期待しています。

「氣づいたら20数年。40代突入。そろそろ同窓会っていうのもいいね。」

「同窓生の皆様はどんな年代を運んでいらっしゃいますか? 高い秋空の下、あの懐かしい校舎で昔さんの笑顔に会えるうれしさ」「ふこしていまよ。」

スルガのやがてのうつむき

4組

森田あゆ子（鈴木）

始めるにいきなり受けた講師でしたかをていくうちに情かしい気持ちになり同窓会が待ち遠しく思えできました。皆に会えるのが楽しみです。」

4組 会田 寿恵(船木)

つなんて本当に驚きですね。皆んなは何をしているんだらう、本と思う今日この頃。私は以前に比べても増えいさきかメタボリック進行中であります。そして妻一人子三人に囲まれ平穏な生活を送っております。「40歳になつたら学校へ行こう」是非、この機会に皆さんの元気なお顔を拝

「卒業アルバム開けてみて一振りさにしばし時を忘れちゃう…」10月6日、アルバムのあの頃に戻りに行こうよ！」  
「40才で信じられませんよね（汗）。でも大丈夫食晩40才です」とびきりの笑顔で音様にお会いできる日を楽しみにしています」  
「人生80年、折り返し地底をアチ不満で思い知る日々。皆さんに会って元気をもらいたいです。たくさんのご参加おまちしております（←）」 6組 成宮 留子（佐藤）  
「なぜか引き受けてしまった同窓会の幹事。久しぶりに電話した鶴玉のみんなは後しかった。音と変わらない、そして大人になった鶴玉生にぜひ会いにきてください。」  
「自由回連に育つた7組の皆さんへ」  
「そのまんま7組」のノリで楽しもうね～」  
7組 久田 拓哉  
「高校入学の時から四年が経ち、私はも40歳になり、再会のチャンスが来ました。その日は昔に戻り楽しみませんか！」 8組 賢木 雄行  
「いやあ～皆、相当変わってるのかな～♪懐く楽しみでもあり、恐くもあります。自分の事は棚にあげ：10月6日（土）に予定の入っている人はキケンセルして、ホームカミングデー終了後、獨協鶴玉一って入れて下さい」  
8組 川和 利行  
「2007年10月6日、せんげん台で22年前の18歳のあの日にタイムスリップ。皆、楽しみに待ってるよ～」  
8組 大坂 麻琴（大崎）  
「西日は2次会、3次会」とオールナイトで盛り上がりましょう!!育児中のパパもママもこの日だけはハメをはずせよう…各ご家庭での振廻しをさうちりとお願いしますねっ！」  
9組 奥泉 指子（南）



講演会報告

去る、平成19年2月  
24日、高校生徒会執行  
部主催・PTA後援

室で骨の薬を作るというテーマをいただき、結局、それから20年も骨と遺伝子の研究を続けることになりました。

の講演会として、「教科書にも載っていない将来の道」というタイトルをいただき、お話をさせていただきました。すでに、獨協埼玉高等学校を卒業して今自分の学生時代のように結ばれているみんな、卒業生ならではと思い、今回、学校で「遺伝子」という言葉を知るまで、たことがあります。そこで、生物が同じ「遺伝子」同士を組み換えていました。それが私にとって、どうしても「遺伝子」についているらしいと伺い、ことを決めました。

ましたが、薬学部は薬然ながらいつまで経つません。我慢できず、

かりたいと学内の研究直後の3月に厚生労働省によって新しい難病に認定されたので、ご存じの方もいらっしゃるかもしれません。我々は、国内の患者さんと協力しながら、遺伝子の変化による発症原因の解明や治療法の確立を目指しています。残念ながら競争に負けてしまいましたが、最近、アメリカのグループが病気の原因となる遺伝子を突き止めました。この病気は人間以外では発見されていないため、私は原因となるヒトの遺伝子をマウスに導入して、マウスの中で病気を再現しようとしています。このような研究を進めるほど、生物は極めて精巧にできいて、私達人間がいかに無力であるかという思いが強くなるのも事実です。

バスケットボールとテニスに熱中していた高校時代に、このような仕事を想像していたわけではありません。けれど、高校3年生で目にした「遺伝子」という言葉が、大きく影響したことは確かです。学生時代には毎日の生活が無限に続くようになるかも知れませんが、学生でいる時間は人生全体の僅かです。忙しくとも学生時代に一時立ち止まり、自分が一生をかけて取り組めるものを考えてみることは悪くないと思います。そのときは結論が出なかつたり、後で考えが変わったりすることもあるでしょうが、一度ゆっくり考えることで、明日からの学生活が全く変わるかも知れません。今回の講演で、そんな思いが少しでも学生さん達に伝わったならば幸いです。

埼玉医科大学ゲノム医学研究センター

部門長・准教授 片桐岳信(一期生)



## 国際交流の今



現在獨協埼玉中高では、4つの国際交流プログラムが提供されています。その内3つが高校で、残り1つが中学校になります。高校の主軸となっているのが、約2週間の相互派遣を行う姉妹校交流です。交流の内容は、受け入れ校の生徒がホストを受け学校内の世話をし、家庭にはホストファミリーとして協力を頂いています。同年代の生徒同士がお互いの言語、文化等を肌で学び合うプログラムです。相手校はオーストラリアのペノラ・カソリック・カレッジと、ドイツのシュタインバート・ギムナジウム（それぞれ隔年で実施）です。また夏期語学研修としては、4週間ホームステイをしながら、カナダのカルガリー大学の正規留学生用授業に参加するプログラムがあります。そして中学校ではニュージーランドのレビン・インター・メディエイト・スクール（毎年実施）と高校と同様の姉妹校交流をしています。以下簡単にそれぞれの状況をお知らせします。

まずペノラ・カソリック・カレッジとの姉妹校交流ですが、今年の3月に本校生徒約20名がオーストラリアに行つて参りました。英語の勉強はもちろんのことですが、日本ではなかなか味わえない大自然にたっぷりと触れることができました。また、初めての海外生活で、日本を改めて見直す機会を持ち、人間的にも一回り成長をした彼らでした。

次にシュタインバート・ギムナジウムとの交流で、今回で2回目

の世話をし、家庭にはホストファミリーとして協力を頂いています。同年代の生徒同士がお互いの言語、文化等を肌で学び合うプログラムです。相手校はオーストラリアのペノラ・カソリック・カレッジと、ドイツのシュタインバート・ギムナジウム（それぞれ隔年で実施）です。また夏期語学研修としては、4週間ホームステイをしながら、カナダのカルガリー大学の正規留学生用授業に参加するプログラムがあります。そして中学校ではニュージーランドのレビン・インター・メディエイト・スクール（毎年実施）と高校と同様の姉妹校交流をしています。以下簡単にそれぞれの状況をお知らせします。

まずペノラ・カソリック・カレッジとの姉妹校交流ですが、今年の3月に本校生徒約20名がオーストラリアに行つて参りました。英語の勉強はもちろんのことですが、日本ではなかなか味わえない大自然にたっぷりと触れることができました。また、初めての海外生活で、日本を改めて見直す機会を持ち、人間的にも一回り成長をした彼らでした。

次にシュタインバート・ギムナジウムとの交流で、今回で2回目



### 「部活動紹介」



ソフトボール部といえば、まず、第一に浮かぶのが、藤田敏雄先生の姿でしょう。獨協埼玉高校が共学となり、ソフトボール部が同好会として発足した当時から、現在に至るまで、変わらずご指導をしてくださっています。空き時間には、グラウンドの整備、練習では、厳しい言葉が飛び交うノック；今でも目をつぶると、昨日のことのよう鮮やかに思い出されます。

藤田先生が、ソフトボールの技術と同様に力を入れて指導してくださったのが、相手を思いやり気持ちと礼を尽くす心です。その方針は「気配り・目配り・思いやり」「感謝の気持ちを忘れなさい」という部活のめあてにも表れています。一年生の頃は、ことあるごとにわけも分からず復唱させられていたことを覚えていました。それが、学年が上がるにつれ、それは、部活動中や試合中だけでなく、日常生活においても大切なことだということが理解できるようなりました。今では、この「気配り・目配り・思いやり」と「感謝の気持ちを忘れない」という2つの精神は、私のモットーであり、今後、私

### なつかしきあの頃 第8回

## ソフトボール部

という人間を形成してくための「核」といっても過言ではないでしょ。

もう一つ、

獨協埼玉ソフトボール部の特徴として挙げられるのが、伝統を重んじていることだと思います。日々、時間が流れ、新しかったものが古くなっていく中で、ソフトボール部には、変わらないものが二つあります。

まず一つ目は、先輩を敬う姿勢です。私が現役だった時も、合宿や練習試合のたびに、OGの方からたくさんのご指導を受けました。それは、私がOGとなつた今でも後輩たちに受け継がれています。そして二つ目は、ユニホームのデザインです。獨協埼玉ソフトボール部のユニホームのデザインは、現在では珍しい長ズボンタイプのユニホームです。設立当時から色もデザインも変わっていません。先輩方のお古を着まわしているため、中には、つぎはぎがあるものもありました。

試合に行くたびに、周辺の高校のユニホームが新調され、正直、うらやましいなと思ったこともあります。しかし、ソフトボール部が設立された当初の先輩がデザインし、関東を出るまでは決して変えないと代々受け継がれてきたものです。このユニホームこそ先輩方や自分たちの「泥・汗・涙」と「目標」がつまつた伝統そのものなのです。

私たちOGは、その「目標」をクリアできずに引退を迫られてしましましたが、現在や未来の後輩たちには、是非、目標をクリアして新しい伝統を作り上げていってほしいと思います。

最後に、私は、この場所でかけがえのない友とたくさんの経験を得ました。後輩にも是非ソフトボール部を通してたくさんのこと学び、得てもらいたいと思います。この獨協埼玉高等学校に、伝統を重んじ、思いやりの心あふれるソフトボール部が、いつまでも続いてくれることが、私たちOGの願いです。



# 平成19年度 教員座談会

司会「中高一貫となり、初めての卒業生がでました。そこで今回のテーマは「一期生」とし、様々な思い出をお話いただきたいと思います。

まずは中学立ち上げの準備についてお願ひします。

堺町「94年頃から中学設立の話が持ち上がり、どういう学校にするかをかなり話し合ったね。「自ら考え方行動する生徒を育てる」という高校の理念を踏襲しつつ、他大志望・理系志望がこれまで以上に高まるだらうから、それに答えなければ…という気持ちでいたね。ゼロからの出発で、しかも素人でしょ。とにかくがむしゃらにやつてたなあ。開校前の学校で、何も分からぬからとにかく受験生が訪れて来るんだよ。それでも面倒がらずに1時間2時間と説明してね。後で聞くとそれが良かったみたいだね。

堀口「そうはいうけど、堺町先生は大体3時間だったよね。特に綺麗なお母さんの場合」(爆笑)。今でも覚えてるけど、受験生に制服を着せて写真まで撮つてあげてね。ここまでしてあげる学校は他にないだろって思つたね。それでも、始めは教職員間での中学開校に向けた意識の一本化が大変だったね。今ほど少子化も深刻ではなかつた頃だし、「そんなに急がなくても…」といふ意見もあつたね。だからこそ絶対に失敗は許されないというプレッシャーはあつたね。そこで改めて「獨協」というブランドに助けられたね。ブランドのない新設校は軒並み苦しむ中、それなりに注目度は少し高まってきたからね。でも、校舎もない、カリキュラムもない、何を宣伝して歩くかといふと「夢」しか語れない。(笑)。新設校には誰も冷ややかでね。やれるものならやつてこらん!という感じで。

司会「4クラス募集のはずが、6クラスになつてしまい大変でしたが…」

堀町「本来坪井先生は講師採用の予定だったのに、急速「それでは担任として」という話になつて、

本人も訳の分からないうちに入学式、オリエンテーションに連れて行かれてね。

堀口「入学式も手順が分からなくてね。教科書やら

機頭やら配る物が多くてね。

高山「私のクラスは見るに見かねて保護者の方が手伝つてくれましたよ。酒井先生は機頭を配り忘

れちゃうし…」(笑)

堀口「オリエンテーション合宿も、人数が増えたものだから大変でね。うちのクラスの男子は20名

で「宴会場」にいれさせたよ。

司会「1年生の時のクラスはどんな感じでしたか?

百済「私の場合、高3を卒業させて、すぐに中1

でしたから、そのギャップが大変でしたね。し

かも元気のある2組だったから尚更…」(笑)

とにかく毎日何か事件が起きましたね。また

それをすぐに職員室に報告にきてくれるものだ

から…」。

堀口「エアコンのカバーをすぐに壊したのも2組だ

ったよね。よく女子が男子の上履きを女子トイ

レに投げ入れてたよね。

堺町「全クラス共通してたのが、黒板下の壁が足跡

だらけ。まだ真っ白な壁一面が足跡足跡…。

堀口「坪井先生はね、急な採用で気持ちの準備もで

きてなかつたんだろうね。始めは怒り方もお娘さんでね。『…しなさいね』だったのが、1ヶ月もたなかつたね。「静かにしろよ!」つてい

う教室での怒鳴り声が職員室にも響くようになつてね。何とか申し訳なくて…」(笑)。

堀口「うちのクラスは個性は強かつたけど、暴れん坊はいなかつたかな?ただオリエンテーション合宿で着いたその日に、和室の鶴居にぶら下がつて壊した生徒はいましたが…。でも修了式では生徒が自発的に合唱祭の歌を最後に歌つてくれて、感動しましたね。

酒井「うちのクラスは男子が変わつてましたね。書

写の時間に果たし状を書いて送りつける子がいたり、何とか数珠を数えている子がいたり…。

柳町「酒井先生は1年で学年を降りることが決まつていたからね。思い入れも強かつたはずが…。思つて言つてですね。もうガフクリですよ(笑)。

酒井「そう。修了式の日、坪井先生のクラスが合唱

で感動的な中、うちも最後にいい話でも一つと

思つていた矢先、「先生バスが出ちやいます」

つて言つてですね。もうガフクリですよ(笑)。

堀町「数学はとにかく補習補習、最後はエンドレス

したね。何かアイデアを出すと「やつてこらん」

っていう感じで…。私にそんな決定権があつていいのかなと思いましたね。

司会「学年全体としてほどのような雰囲気でしたか?

堀口「1人1人みんな印象は強いけど、とにかく期生は元気があつたし、個性もいろいろだったね。

司会「行事などはどうでしたか?

堀口「1人1人みんな印象は強いけど、とにかく生徒の雰囲気も違うね。やはり獨協の良さは、異なる個性でもはじかることなく一緒に過ごしていく所だね。学年のカラーも一言では言えませんけど、いろいろいたね。

司会「行事などはどうでしたか?

堀口「最初の学年で全て初めてでしょ。先生も生徒も大変だったと思うよ。以後の道しるべを作つてくれて感謝しますよ。

酒井「文化祭も手探りでしたね。それでもバラエティ

イに富んだものができたと思います。

百済「家庭科の授業をとても楽しんでくれたのが嬉しかつたですね。数学や英語で補習を受けている子が、嬉しい物ですばらしい作品を作つたり…。

堀口「男子が雄い目の注意を真剣に聞いていた姿がわいわいかつたな。

堺町「調理している姿は、男女とも生き生きとしていて、普段の授業では見られないものだね。

司会「最後に1期生へのメッセージを。

堀口「もしかしたら中学校建ててなかつたら、1期生と出会つていなかつたら…と考えると、きっと

全く違う教員生活を送つていただろうなと思

います。みんなにも充実した中学生活を送つた生徒は他にいないだろうなと思います。

堀口「もしかしたら助かっただけだから助かっただけで、彼らのお陰で疲れを感じる事もなくがんばらせてもらえたね。充実した教員生活を送らせてもらえたと感謝してます。

司会「授業についてはどうでしたか?

柳町「担任ではないという気楽さもあつたけど、授業は楽しくやらせてもらつたね。

理解度やプリントなどね。理科にはよく興味を持つてくれたね。

堀町「勉強面での雰囲気も1期生が作つてくれたね。

酒井「補習メンバーの間でも何か独特の雰囲気、友

情みたいなものが芽生えてきたりして、面白か

ったですね。

堀口「よく百名以上のメンバーを小ホールの床でや

らせてたね。そこから補習メンバーを選ぶ「オーディション」って今は死語だよ。

高山「何で30回も練習したのにABCがかけないの?って泣きたくなりましたね。中間テストまで目標がローマ字で名前を書けるように

しようつて。でもいろいろチャレンジさせてもらえて、教員になつたらこういう英語教育をしてみたいと思つていた事の多くをさせてもらいました。

堀口「よく百名以上のメンバーを小ホールの床でや

らせてたね。そこから補習メンバーを選ぶ「オーディション」って今は死語だよ。

高山「何で30回も練習したのにABCがかけないの?って泣きたくなりましたね。中間テストまで目標がローマ字で名前を書けるように

中学1期生 卒業にあたり

中学設立準備から開設まで

現校長（当時教頭）から「中学校を設立したいがどう思うか」と聞かれ、二つ返事で「作りましょう」と答えたことを今でも覚えています。当時、千葉、埼玉では中学の新設ラッシュで、立教新座、芝浦柏などが大成功しているのを見ていましたし、東京ではすでに高校受験から中学受験にシフトしていく手本となる学校はいくつもありました。しかし何よりも必要に迫っていたのは本校高校受験者数の長期低落に歯止めがかからないことでした。私が本校に着任した頃は高校にも勢いがあり、獨協大学推薦の波に乗り、潤沢に募集を経けられたわけです。しかし今から10年くらい前、高校受験は大きなうねりに入りました。業者テストや偏差値制度の廃止、少子化による受験生の青田買いや大学入試地図の再編など。私学の生き残りにかけていくつもの学校が名称やコンセプトの改革を余儀なくされていました。毎年卒業生の6割近くを獨協大学に推薦で送り出し、生活指導に手をこまねく必要なない時代は当の昔に過ぎ去っていたのですが、気がついたときはタイタニック号のごとく船体には大きな船裂が入っていたのです。すぐにでも手の打てる大きな改革…それが中学設立という形で実現できる唯一の方法だと感じました。



それから十数校の説明会を見て廻り、本校でできることや是非取り入れたいことなどを考えて会議にかけました。20年近くの高校生活で見えなくなっていた本校の長所短所を検証し、更に選んでもらえる学校になるための必要条件を形にし、教員間でコンセンサスを作る作業が最も難問だったように思います。外部の反応は様々で、大手塾を四宮前校長や石井現校長と回り、設立のコンセプトをお話しすると「そんなコンセプトでは募集は難しいので何を特色を作ったほうが良い」と言われ、石井校長と肩を落として歩く日々でした。

高 橋 学 年 主 任 加 井 真 一

2007年度、新学期が始まって約2カ月が経過した今学校は静かである。3年前のあの喧嘩は何であつたのだろう。2004年度に高校に入学してきた生徒たちは32名。獨協埼玉中学から21名、さまたな中学からの入学生が11名であつた。ここに獨協埼玉高校にはじめて中高一貫生が入学してきたのである。高校として新しい試みが始まることで色々な悩みの始まりでもあつた。

入学式ではなにやら賑やかな一貫生と不気味に静まりかえる高校入学生。その後1組から4組はA棟へ、5組から9組はB棟と分かれた。それとともに始まつたのはさまざまないたずらである。トイレにはトイレットペーパーが詰め込まれ水があふれ、とももするとペーパーは水で溶かされ壁にべたべたと張り付き、教室の鍵が壊され、黒板や日直日誌にたくさんの落書きがあふれた。この手のいたずらは延々と約1年間続くことになる。なかでも困ったのは鏡

2006年度卒業生を送り出して

積しています。この原稿を書きながらあの頃の情感を思い起こし、もうひと頑張りしなければと痛感しています。

開校から7年、より良い中学を目指して様々な改革や変更を加えましたが、総合学習や合唱祭を始め本校に根付いた行事や伝統は今も中学生たちの心の中で輝いています。

とコンセントの破壊である。クラスによつては3本のカギを修理することになつた。そのエネルギーの根太さには驚かされた。このエネルギーが将来またもな方向に向くとは少しも考えられなかつた。

中学からの入学生、高校からの入学生という2つのグループの摺り合わせをどうするかは担任集団を悩ましていた。クラブ等を通じて仲良くなるだらうと言ふ楽観的な見方もある、当面様子を見るうことになつた。案の定、林間学校で小競り合いが見られたが、幸いなことに時間とともにその後大きな問題にはならずには過ぎていつた。

この1年間の大きなうねりは2年生になるとやや沈静化し、イタズラの方も2年生になると若千あつたが全体としては生徒が落ち着きをはじめた。高校2年生では相変わらず成績上位者は内部進学生が大半を占めていたが、外部から入学した生徒たちの成績が徐々にアップし、成績優秀者の中に7名から9名の生徒が顔を出すようになってきた。第2学年も夏休みを過ぎると、多くの生徒による新規の

悩んだりも寂込んだりもしました。1ヶ月3週間は私にとっての財物になりました。なによりも生徒みんなが優しく、純粋で、とても協力的で、たくさん助けられました。どんなに疲れていても、生徒たわの元気な声を聞き、笑顔を見ると自然と疲れも消え、笑顔になつている自分がいました。笑顔やパワーは伝染するんだなあと改めて実感し、やはり、笑顔は

## •教育実習を終えて•

この3週間を終えて、色々な人た  
ちに「教育実習、どうだった?」と  
聞かれ、その度に私は決まって「す  
っこく楽しかった!」と答えます。  
このように楽しかったと言い切れる  
のは、指導してくださった先生方の  
広い心、丁寧な指導や協力、そして  
何よりも生徒たちの協力があつた  
からです。色々な人たちに助けられ、  
この3週間を終えることができ、本  
当に様々なものに、いくら感謝して  
も足りないような、そんな気持ちで  
いるのです。

(叶真・左から高畠洋  
田・坂口桂・五反田沙  
織・北原秀理 全員22  
歳)

# 第28回 蛙鳴祭 9月22日(土)・23日(日)

今年のテーマは **In alle Welt** です

「イン・アレ・ウェルト」ドイツ語で「あらゆるところへ」を意味します。それぞれのクラス・団体がその特色をいかして、ご来校なさった方々を素敵な「あらゆるところへ」ご案内致します。



八

試三二說明会

\*いずれも小ホールにて \*頒書を無料で配布しております。

**中学** 9月22日(土) 13:30~14:30 **高校** 9月23日(日) 13:30~14:30



もちろん、同窓会も参加します!

獨協埼玉の28年の歴史や、先生方の若かりし頃(！？)や現在が分かる“今昔物語”などを展示中!! 同窓生の皆様もご家族づれでお越し下さい。



# 体育祭

9月20日 木  
10:00~15:00

今年もお揃いのカラーTシャツに身を包み、汗と涙を流す体育祭の季節がやってきます。自由にご覧いただくことができますので、お時間がありましたら、是非お越しください。

入試

募 集 中学：男女共学4クラス160名  
高校：男女共学4クラス160名

\*詳しくは…  
学校HPを  
ご覧ください。

説明会 中学のみ 9月16日(日)

中學：高一 10月14日(日)・11月11日(日)

坂本 関 育美 坂本 仲田 深瀬 永井 田ノ下紀子 田中 竹内 櫻井 金久保佳代 伊勢 陽子 田島 信也 川島 陽子 田島 潤口てるみ 田中 酒井 森脇 奥泉 吉本 増田 小野 市橋 杉崎 増田 野村 伸也 佐々木秀紀 岳一 岳二 岳三 岳四 岳五 岳六 岳七 岳八 岳九 岳十 岳十一 岳十二 岳十三 岳十四 岳十五 岳十六 岳十七 岳十八 岳十九 岳二十 岳二十一 岳二十二 岳二十三 岳二十四 岳二十五 岳二十六 岳二十七 岳二十八 岳二十九 岳三十 岳三十一 岳三十二 岳三十三 岳三十四 岳三十五 岳三十六 岳三十七 岳三十八 岳三十九 岳四十 岳四十一 岳四十二 岳四十三 岳四十四 岳四十五 岳四十六 岳四十七 岳四十八 岳四十九 岳五十 岳五十一 岳五十二 岳五十三 岳五十四 岳五十五 岳五十六 岳五十七 岳五十八 岳五十九 岳六十 岳六十一 岳六十二 岳六十三 岳六十四 岳六十五 岳六十六 岳六十七 岳六十八 岳六十九 岳七十 岳七十一 岳七十二 岳七十三 岳七十四 岳七十五 岳七十六 岳七十七 岳七十八 岳七十九 岳八十 岳八十一 岳八十二 岳八十三 岳八十四 岳八十五 岳八十六 岳八十七 岳八十八 岳八十九 岳九十 岳九十 岳九十一 岳九十二 岳九十三 岳九十四 岳九十五 岳九十六 岳九十七 岳九十八 岳九十九 岳一百 岳一百一 岳一百二 岳一百三 岳一百四 岳一百五 岳一百六 岳一百七 岳一百八 岳一百九 岳一百十 岳一百十一 岳一百十二 岳一百十三 岳一百十四 岳一百十五 岳一百十六 岳一百十七 岳一百十八 岳一百十九 岳一百二十 岳一百二十一 岳一百二十二 岳一百二十三 岳一百二十四 岳一百二十五 岳一百二十六 岳一百二十七 岳一百二十八 岳一百二十九 岳一百三十 岳一百三十一 岳一百三十二 岳一百三十三 岳一百三十四 岳一百三十五 岳一百三十六 岳一百三十七 岳一百三十八 岳一百三十九 岳一百四十 岳一百四十一 岳一百四十二 岳一百四十三 岳一百四十四 岳一百四十五 岳一百四十六 岳一百四十七 岳一百四十八 岳一百四十九 岳一百五十 岳一百五十一 岳一百五十二 岳一百五十三 岳一百五十四 岳一百五十五 岳一百五十六 岳一百五十七 岳一百五十八 岳一百五十九 岳一百六十 岳一百六十一 岳一百六十二 岳一百六十三 岳一百六十四 岳一百六十五 岳一百六十六 岳一百六十七 岳一百六十八 岳一百六十九 岳一百七十 岳一百七十一 岳一百七十二 岳一百七十三 岳一百七十四 岳一百七十五 岳一百七十六 岳一百七十七 岳一百七十八 岳一百七十九 岳一百八十 岳一百九十一 岳一百九十二 岳一百九十三 岳一百九十四 岳一百九十五 岳一百九十六 岳一百九十七 岳一百九十八 岳一百九十九 岳二百 岳二百一

根本	高橋	金本	井上	市川	永瀬	伊藤	岡野	芳我	須藤	森	岡部	安保	佐藤	村上	高崎	加藤	丸川	大山	山口	村上	宗像	植原
明子	睦美	幸美	大史	哲也	東梨加	沙穂理	亮太	郁子	潤	歩美	沙友里	佳代子	唯	まどか	菜月	玲子	五十嵐	みどり	麻里	恵理	さやか	浩美
(25)	(25)	(25)	(25)	(24)	(24)	(24)	(24)	(24)	(24)	(23)	(23)	(23)	(22)	(22)	(22)	(21)	(21)	(20)	(20)	(19)	(19)	(18)

◆ 會計監查 ◆ 副會長

五山	武田	宗一
永島	信一	
成瀬		
梨本		
友野		
有光		
眞緒	博文	
行晴	健次	
佳世		
20	19	10
1		3
		3
		1

同人手稿

## 同窓会名簿の更新について

**会費納入のお願い**

平成11年度の卒業生より、同窓会会員として  
従い正式に卒業年度にて、終身会費を納め  
ていただきましたことになりました。つきまして  
は、既に卒業された同窓生にも終身会費  
(一万円)を納入していただき、納入葉書  
を回収させていただきました。同窓会の運  
営資金となります。理解の上ご  
協力よろしくお願ひいたします。

三既にお預込みいただいた方には預込み用  
紙は封入されておりません。

④同窓会は、同窓会活動を遂行する上で取扱させていただいた皆様の個人情報を適切に保護し、会報・同窓会が主催協力する行事等の開催案内の送付、学校で保有する卒業生データベースの構築のための情報収集にこれら的情報を利用します。重なれば、情報の提供に同意されない方は、事務局まで届け出ください。

車最近、同窓会を名乗り、電話で個人情報を聞き出そうとしている団体があるようです。本同窓会では、電話での問い合わせは一切しておりませんので、注意下さい。

同様な状況の更新につきましては、現在、科事会において検討中であります。個人情報保護の観点から、具体的な更新日時を決定しておりません。あらかじめご了承ください。